

第 4 回 京都 BCP 地元金融機関図上訓練 実施要領

1. 目的

一定の被災想定に基づき、情報集約及び情報提供に関する訓練を参加者分散型で実施することにより、手順等の実効性及び使用様式の検証を行うもの。

「大規模災害発生時における相互支援協定書」(抜粋)
(平時の連携)

第 6 条 京都府及び参加金融機関は、大規模災害発生時の相互支援を円滑に行うため、平時から連携して次に掲げる取り組みを行う。

(2) 相互支援の実効性向上に向けた共同訓練の実施及び対応力強化

2. 実施日時

平成 29 年 10 月 12 日 (木)10 時～16 日(月)10 時頃

3. 実施場所

各金融機関…各本店、京都府…府民生活部 防災消防企画課

※集合型ではなく、実際の状況に合わせた分散型で実施する

4. 訓練内容

(1) 発災想定

平成 29 年 10 月 12 日(木)10:00

花折断層帯地震(マグニチュード 7.5)及び山田断層帯地震(マグニチュード 7.4)の同時発生

(2) 被災想定付与

京都府から参加金融機関に対して被災想定を付与(被災営業店舗及び店外 ATM、停電状況)

2 回実施(発災直後、発災 24 時間後の被害想定)

(3) 訓練内容

※使用様式: 様式 7、様式 8・8-1、様式 9・9-1

ポイント

- ・当局等への報告
- ・情報集約
- ・情報提供

(4) 事前準備事項

- ・使用様式の確認（様式7、様式8・8-1、様式9・9-1）
- ・通信連絡手段の確認（電子メール、FAX）

(5) 結果集約

「第12回連携型BCPに向けた地元金融機関の意見交換会」で意見交換を行う予定としているので、今回の訓練で把握した手順・様式に関する修正意見を整理しておきたい。

(6) 訓練内容の照会

訓練内容の照会については、事務局担当者に行われたい。

以上